Mail

読者のひろば

読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。

昨年より寺子屋を子どもが利用させてもらっており、今年も参加できることになりました。塾生は異年齢のため、新しくお友達ができることや、教え合える環境を作っていただけてありがたく思っています。指導員の先生方や学習センターの方々がとても親切で寺子屋での様子を教えていただけたり、遊びを教えてくださり、子どもも楽しい様子ですし、安心してお願いしています。（R・Fさん・女性）

寺子屋事業をご利用いただきありがとうございます。平成28年度から開設場所を徐々に増やし、現在市内30か所で開校しています。寺子屋は、子どもたちが学習活動を中心に地域の皆さんからも様々な事を学べる場所です。また、異なる学年の子どもたちと一緒に活動を行うことで友達が出来たり、学校や家庭では学べないことを学んだりすることで、子どもの成長を感じられると思います。

5月号の表紙を見た時、思わず「何この写真！」と手に取りました。2ページに「昭和35年頃の北田町」とあり、すぐに場所が分かりました。私は鹿屋女子高校へ通っていた時、さみしいシャッター街になっている北田町を、昔はどんなに栄えていたのかなと思いを馳せていたので、今回このような形で知ることができ、とてもうれしいです。タイムトラベル～温故写新～のコーナーも好きなので、今度も鹿屋市の歴史を教えてください！（C・Sさん・女性）

5月号の表紙については、年齢を問わず多くの感想をいただいており、懐かしさを感じるという意見も多くありました。昭和47年に北田交差点は県内初のスクランブル交差点となり、人通りが多く様々な店が軒を連ねていました。現在は、地元住民や民間団体等の皆さんが中心市街地活性化に向けた取り組みを行っていますので、足を運んでみてください。

かわいい孫への贈り物事業を活用いただきありがとうございます。この事業は、本市独自の事業で満1歳に満たない乳児を対象に、その保護者に対して育児用品購入助成券1万2千円分を交付しています。子育てをしていると多くの喜びを感じられる一方、不安や気がかりを持つこともしばしばあると思います。市では、子育て世帯の出会い・交流及び育児相談の場として「あそVIVA（ビバ）！かのや」をはじめ「地域子育て支援センター」「つどいの広場」があり、多くの親子連れでにぎわっています。また、市庁舎内の「こども家庭センター」では、保健師・助産師等の専門員が妊娠・出産・子育てに関する情報提供を行っていますので、気軽にご利用ください。

これからも子どもの成長と親であることの幸せを感じながら、子育ての時間を大切にお過ごしください。

かわいい孫への贈り物事業を活用いただきありがとうございます。昨年子どもが産まれ大いに活用させていただきました。思ったよりも育児に出費がかかり、やりくりが大変ですが、息子の笑顔や寝顔を見て「がんばろう」と思えます。支援センターも多く、毎日異なる所へ出かけています。子育てがしやすい街だなぁと思っています。（いくみんさん・女性）

毎月楽しく拝見しています。広報の方々の色々な記事を載せる努力に頭が下がります。今回ホタルの記事がありました。私は昨年初めて大姶良にホタルを見に行きました。とても感動しました。光り輝く貴重な瞬間でした！また今年も見に行こうと思ってます。（T・Tさん・女性）

ホタルの光は、幻想的で心を和ませてくれます。そんなホタルの生態については知らないという人も多いのではないでしょうか。ホタルは卵の頃から光っていて、翌年に成虫として地上に出てくるのですが、成虫の期間はたったの1～2週間です。ぜひ、来年もホタルの優雅な舞いを見に出掛けてみてはいかがでしょうか。また、ホタルはきれいな水がないと生きていけません。自然を大切にして、いつまでも鑑賞していきたいですね。

フォトネタ！

グローブなす

永田義雄（ながたよしお）さん（串良町岡崎）の菜園で採れた幅約25㎝、重さ約700gの大きななす。形も野球グローブの様で「野球しようぜ」と誘っているよう。